

木馬会会報 (第102号)

マイルチャンピオンシップ特集



98/11/20

～木馬達の予想～

本誌 栄蔵の一番弟子 TP

～TPの屁理屈～

競馬に絶対はない。エアグルーヴは3ヶ月の休み明けであったのだから、取りこぼしは十分考えられたはずだ。私の検討の結果、上位4頭(エア、ドーベル、グレース、ランフォ)は抜けていると考えていたのなら、そのボックスで良かったのだ。38倍はおいしい。

今回絶対といわれるタイキだって休み明け。「強い」という思い込みがいけない。タイキシャトルはとんでもなく強いヤツだが、2週間前の写真では明らかに太い。これなら、もしやということもあり得る。

しかし、しかしだ。なんて魅力のないメンバーだ。なぜグラスワンダーやエルコンドルパサーはこちらに出ないのか？シャトルが順調なら、どう転んでも5馬身離して圧勝するメンバーである。この相手じゃちょっと狙いようがないんじゃないの？結局シャトル本命だ。許してね。しかし、競馬ブックの写真を見ると、確かに太いがほれほれする馬体だよなあ。筋肉の付き様といい、柔らか味といい最高のサラブレッドだよ。

相手に何をとりとうか。ワシントンカラーが面白いと思っていたが、残念ながら回避。どうもキョウエイマーチは何がなんでも逃げるらしい。逃げなきゃだめなのよ、幹夫君。やっとわかったね。内枠から普通に出来ればマウントアラタより速い。問題は外枠だった場合だが、マウントに外から圧力をかければ元来短距離馬のマウントはあえなく直線で失速。そうすれば得意のラチ沿いを走れそう。腐っても桜花賞馬。そうなるを恐い。タイキを負かすならやはりG1馬。京都の鬼、牝馬の河内のシーキングザパールが中間も調子が良いようだし、京都は減法得意。他には後ろからなにも来ないときのしぶといビッグサンデー。自分の力分はきっちり走る。あとは追い込むしかないヒロデクロス。前が潰れれば。ロイヤルスズカはG1では足りない。シンコウスブレンダが人気を集めそうだが、休み明け、中間追い不足、気性が荒い、初めてのG1のきつい流れと不安材料が幾重も重なる。確かに前走は鮮やかでなかなかいい走りを見せたが、いきなりはどうか。せいぜい3着止まりとみて切る。

多分実際には、この予想の目とは全く違うのを総額1000円ばかり買うかどうかというところだろう。なんか、最近面白いレースがないぞ。今週のトパーズSも、福島記念もそう荒れそうもないし。

◎…タイキシャトル ○…シーキングザパール、キョウエイマーチ

▲…ビッグサンデー △…ヒロデクロス

先週は友達家族と中山競馬場で飲んだくれながらやっていた。もちろん、そんな状態で儲かるわけがない。日曜は面白いレースが少なく、本当はそんな風にでも買う必要はないのだが、私は競馬を愛しているので、そんな楽しみ方もあってよかろう。そして、もう1点反省事項として、私は予想者TPではなくただの森田孝なのだ。紙面上コンメンダトーレを推したが、じっくり研究すると、ワシントンはあのメンツでは確かに抜けていた。それで22倍はおいしい。別人なのだから紙面に書いたことにとらわれる必要は全くないのだ。今後はこれらの教訓を生かしつつ回収率アップを計っていこう。現在の回収率61.5%

トウインクルダンディ

予想とはまったく関係のない投稿「M氏への賛歌」(M氏に興味のない方はとばしてください。)

いつからだろう・・・彼が意固地になっていたのは・・・別に予想が外れることは前から(私がM氏と出会ったときから)なので何も心配することはなかったのだが、外れ方が変わってきていた。常に血統に思い入れていた昔のM氏がいつのまにか、「ただ単に社台」というだけの馬にしか印をつけなくなっていた。無論社台の馬は血統が良い。「社台おじさん」から「社台」をとったただのおじさんになってしまうのも分かる。それは分かるが、なぜ他の血統の良い馬には印をつけないのだろう？そんな疑問がずーっと頭にあった。仕事がうまくいってないのだろうか？でも総務部に復帰してから(H氏と上司一部下の関係から離れたときからというのが正確だろうか？)の彼は、(一度しかみたことがないが)うだうだと文句をいいながら仕事をしていた。これは彼が好調な証拠だ。それじゃ家庭生活？しかし、これも彼が勝手に送りつけてくる(といっても楽しみにしているのだが)S通信を見る限り、頻繁に同居人(彼は最愛の妻をこう呼ぶ)が登場し、これも順調なようだ。

そうこう心配していた今回のエリザベス、久しぶりに彼らしい本命予想、そしてちゃんと他の馬にも印をつけている。「やっと彼らしくなってきた」私も嬉しくなった。

そして結果・・・彼の予想はみごとの中した。おそらく複勝も買って、単勝の負け分を含めても多少の儲けをだしたことだろう。素直におめでとうといおう！たとえ私が得意の大賭け1着-3着を食らっていても・・・

そして今週以降も彼の予想が昔の意固地になっていなかった頃の彼の予想であることを祈ろう。M氏、久しぶりの印GET, おめでとう！！

さて今週の予想に入ろう。

◎シーキングザパール ○ビッグサンデー ▲タイキシャトル

△ホッコービューティー、ロイヤルスズカ、キョウエイマーチ、シンコウスブレンダ

本命は神様武様から乗り代わりだが、京都なら仏様河内様でシーキングザパール。寒い時期(=パンパンの良馬場)ならタイキシャトルにも負けない実力の持ち主だけに、牝馬がもっとも充実する(私の勝手な思い込み)5歳の秋、春の雪辱を晴らしてくれると確信している。

対抗は迷ったがビッグサンデー。実力的にはタイキシャトルに劣るが、東京のマイルと違って、実力だけでは勝てない京都のマイル。特に外が伸びない今の京都コースなら、マウントアラタ、キョウエイマーチのハナ競り合いの直後を進むこの馬に展開の利がありそうだ。

あえて評価を下げたタイキシャトル。強いのは分かるが、海外帰りの休み明け、調教は馬なりが続いているうえに体重が増えやすい冬場・・・鉄板に思えるこの馬にも、体調面と馬体重で不安点はある。

高配当を狙うなら、面白いのはホッコービューティーだろう。ホッコービューティーは、休み明けだが、京都マイルの巧者。やはり充実の5歳秋、穴男熊沢で一発があってもおかしくない。

◎…タイキシャトル、○…オースミタイクーン、▲…シンコウスブレンダ

△…キョウエイマーチ、ロイヤルスズカ、シーキングザパール

ありゃ～ないだろう。先週のエリザベス女王杯である。◎エリモシックが抜群の手応えで最内を突いた。もらったと思ったその瞬間、急ブレーキだもんなあ。過怠金 4 万円では納得しないぞ、安田富男！その 4 万、俺によこせ！！ドーベルを差し切ったとは言わないが、2 着はあったんじゃないの？エリザベス女王杯のビデオを見ながらこの原稿を書いているけど、何度見ても腹が立つ。

さて、4 週連続で 1 番人氣が負けてる秋の G 1 だが、さすがに今週は大丈夫でしょ、タイキシャトルで。マイル CS 自体、1 番人氣が抜群の成績を残してるわけで、いつも顔を合わせているメンバー構成のマイル戦なのだから、強い馬が強い競馬をするのは当然の結果。タイキシャトルについては、できればフランスで勝った時点で引退してもらいたかったが、このマイル CS とスプリンターズ S との 2 戦で最後の勇姿を見せてもらおう。この馬について改めて何かを書くまでもない。相手探しのレースである。

シンコウスブレンダが 2 番人氣なのだろうが、ここはちょっとひねくれてみる。タイキシャトルは道中 3 番手くらいのはず。逃げるであろうキョウエイマーチをタイキシャトルが早めに潰せば、2 着は差し馬だろう。となれば、典型的な一発屋オースミタイクーンをあげる。なんといっても武幸と相性ピッタリ。忘れた頃に走る馬。理由はただそれだけである。休み明けでも走ってるし、新聞によるとイマイチっぽい、それなりに格好はつけてくれるだろう。

保険をかける意味で、3 番手にシンコウスブレンダ。900 万勝ったばかりの身で京成杯 AH を快勝するのだから、力はある。タイムもよかったし。他の馬達は、マイル戦の常連で、お互いにすでに勝負付けが済んでいる。それならば、5 才にしてはキャリアも少なく、勝負付けが済んでない未知の魅力に期待。まあ、素直に買うのであれば、タイキシャトル・シンコウスブレンダなのだろう。

以下、タイキシャトルがかわいがってくれた時に前残りがありそうなキョウエイマーチと差し組からロイヤルスズカ、シーキングザパールが押さえ。

— F E L A —

毛利元就が、大内氏との戦の前に、「人生には三つの坂がある。上り坂、下り坂、そして、まさか。」と、言い放って奇襲攻撃を仕掛けたことがあったらしい。

秋の G 1 戦線、現在の下り坂は間違いなく武豊であろう。そして、まさかは、1 番人氣が勝てていないという事象に違いない。そうなってくると、上り坂はいったい何だろう？先週あたりは、もしかして、横山典なのではと思ったが、エアグループで 3 着となるとそうでもないかもしれない。でも、ジャパンカップも同馬で臨めるということは、上り坂には違いないのかな、なんて気もする。

しかし他に目をむけてみると、G 1 以外のレースはまったく知らないが、ベテラン河内が渋い働きで、上り坂にいるような気がする。おまけに京都ということは、トゥインクルダンディ氏がいつも「京都は河内」と書いているではないか。そうだ、そうしよう。ということで、

◎シーキングザパール ○タイキシャトル ▲シンコウスブレンダ

△ロイヤルスズカ、キョウエイマーチ、ヒロデクロス

— メニーフレンズ —

メジロドーベル嬢、優勝おめでとうございます。おかげで僕は、ランフォザドリームの単勝はとれませんでした。しかしながら、あえてケチを付けさせていただきますが、あなた様の偉業をマスコミさん

は、史上初の牝馬 G 1 4 勝とかいって、称えています。G 1 4 勝といっても、ほんの数年前まではせいぜい G 1 2 勝分です。くやしかったらダービーに勝ってみろ！（無理な相談ですね）。

最近マイルの G 1 のレース（春の安田記念、秋のマイルチャンピオン）が出来てからすっかりマイル戦が固く収まっている。これは、レースが別定になったこともあるが、レースの細分化により、

①層が薄くなったこと

②スプリンターの不参加によりペースが落ち着いたこと、

にその原因が求められるのだろう。

そういう意味では、今回のマイルチャンピオンは穴党にとっては全く「つまらない」（予想が当たる当たらないは別にして、個性がないという意味で）レースになってしまった。あえて、タイキの弱点をあげると次のとおりであろう。いずれも彼の「頭のよさ」に起因するものである。

①日本と全く違うフランスのコース、ペース配分が頭にこびり付いており、久しぶりの日本のコースに戸惑うこと。

②今年一杯で引退の予定なので、平穏な老後を迎えるに当たって、無理はしない（させない）こと。そこで、私の予想は

◎ヒロデクロス、ランニングゲイル

△キョウエイマーチ、タイキシャトル、シンコウスブレンダ

これはつきまっせ。

—— 鈍才 洋二郎の無い知恵絞 ——

はじめまして、洋二郎です。大学入学と同時に競馬界に足を踏み入れ、早 10 年。「不良馬場どころか底無し沼だなあ」なんて思いつつも止められず、現在まで来ています。そんなアタシの当たらない予想なんて、人に言うのも恥ずかしい限りですが、無い知恵を絞らせていただきます。

グリグリの中丸は、タイキシャトル以外に思い付きません。なんでこんな馬が出来てしまったのか不思議なほど、ツオイ馬ですね。彼が「いやー負けたよー、君にはかなわないよ！」と思うような馬が出ているとは思いません。対抗は、シンコウスブレンダとキョウエイマーチで迷ったのですが、キョウエイの調子も良くわからるので、鬼脚を期待してシンコウスブレンダを取りました。前走の脚を使えば、キョウエイ、シーキングを競り負かせるのではないのでしょうか。一発のキョウエイ、トップハンターのシーキングザパールは、抑えまでにしておきます。スズカは着までと考え、カットします。今秋一番堅そうな G 1。なんとか当たって欲しいもんです。東京スポーツ杯は、新馬戦で奥の深さを感じさせたトゥカイダンディーを買います。

◎タイキシャトル ○シンコウスブレンダ

△キョウエイマーチ、シーキングザパール

—— 予想はウソヨ 四国の井崎 ——

エアグループはなんと 3 着！ワルツ理論は崩れてしまった。残念。

気を取り直して堅い G 1 マイルチャンピオンの予想をしよう。ここはトリプル A をつけたタイキシャトルでどうしようもない。京都外回り 1600m は枠順の有利不利は全くない。前走 1 人氣で 1 着のマイル CS の 1 人氣馬は絶対強い！あの頑丈な体では故障することも予想できない。負けようがない！

タイムペースは G 2 をレベルに取った。黒字の馬だけにすると 5 頭になってしまったので、あと人氣になりそうな馬をおまけで載せたがまずいらんだろう。

	3 走前	2 走前	前 走	
タイキシャトル	+1.3	+0.2	+1.4	A A A
シーキングザパール	+0.2	+0.5	-0.3	B
シンコウスプレнда	-1.3	-0.4	+0.2	C 上昇
ロイヤルスズカ	-0.4	-0.3	+0.1	
オースミタイクーン	+0.0	+0.0	-2.5	
ビッグサンデー	-0.3	-0.1	-0.5	
キョウエイマーチ	-0.1	-0.7	-1.0	
マウントアラタ	-2.2	-0.1	-0.1	

[illegible]

メニーフレンズ氏、なんと去年の安田記念以来の的中であります。おめでとう！

さて、今週号から新たに予想者が 1 名加わりました。ライスシャワシャワの同期で、四国の井崎さんとそのお友達もよくご存知の方です。最近寄稿者が限られ、予想印の本紙争いも限られた人間で行われている現状、ここで若い血の導入を図り、活性化していこうと思います。今後の洋二郎の予想に期待しましょう。今週は久しぶりに 3 枚になりました。

来週は、ジャパンカップです。